

Adobe Targetソリューションの概要

今日の企業は、従来よりもはるかに多くのデータをwebサイトの訪問者から収集しています。一方で訪問者は、あらゆるデジタルチャネルや顧客接点をまたいで、適切でパーソナライズされたエクスペリエンスが提供されることを期待しています。業界をリードするテストとパーソナライズのソリューションであるAdobe Targetを活用すれば、A/Bテストや多変量分析テスト、コンテンツのターゲティング、自動化などの機能を用いて、コンテンツとエクスペリエンスの高度なパーソナライズとレコメンドを実現し、訪問者の期待に応えることができます。

Adobe Targetは、こうしたことをかつてないほど容易に実現できます。また、Adobe TargetはAdobe Experience Cloudに含まれ、他の価値あるマーケティングソリューションやコアサービスと連携して活用できます。訪問者をロイヤルティの高いブランド支持者へと転換するための基盤を活用しましょう。

導入の容易さと使いやすさ

Adobe Targetは、テストとパーソナライゼーションを従来より簡単に設定できるようになりました。Adobe Experience Cloudにサインインして、Adobe Targetをクリックした後、特定のページまたはwebサイト全体に1行のコードを追加するだけで、任意のwebブラウザーを使ってサイトやアプリのテストとパーソナライズを開始できます。ステップバイステップ形式のガイドに従い、正しく設定を進めることができます。3ステップの設定が終わったら、テストやパーソナライズを開始して、結果が出るのを待つだけです。

Adobe Marketing Cloudソリューション

Adobe Experience Cloudは、Adobe Targetをはじめ、Adobe AnalyticsやAdobe Experience Managerなど、あらゆる アドビのデジタルエクスペリエンスソリューションを包括し、簡単な操作で利用することができます。さらに、 Adobe Cloud Platformの一連のコアサービスを活用して、ソリューションをまたいでアセット、オーディエンス、 指標、データにアクセスして共有できるので、訪問者に合ったエクスペリエンスをシームレスに提供できます。 ソリューションとコアサービスでは使いやすく統一感のあるユーザーインターフェイスが採用されており、一貫した方法で操作できます。

機能

Adobe Targetには、以下のテストとパーソナライゼーションの機能が含まれています。

A/Bテスト

複数の異なるオファー、画像、レイアウト、コピーまたは全体的なエクスペリエンスを比較して、コンバージョン率の向上につながる要素を絞り込みます。A/Bテストを設定するには、テストするページのURLを入力し、Visual Experience Composerにページが表示されたら、テストの対象となるコンテンツを選択します。コンテンツはドラッグ&ドロップで選択でき、入れ替えや修正も可能です。テストの対象者は、訪問者全体、定義したオーディエンス、Adobe Targetの既存オーディエンス、Experience Cloudの共有オーディエンスのいずれかとなります。自動割り当て機能を使えば、テストの結果が出る前に、明らかに勝者となるエクスペリエンスをより多くの訪問者に提供できます。また、自動ターゲット機能を使えば、各訪問者に最適なエクスペリエンスを自動的に提供できます。

次に、成功指標を指定し、組み込まれている計算ツールを使ってサンプルサイズを設定し、テストを開始します。Adobe Targetでは手順に従ってガイドが表示されるので、迷うことなく作業を進められます。テストが完了したら、結果を確認し、勝者エクスペリエンスをオーディエンス全体に提供しましょう。これは、自動ターゲットを使用していない場合であり、使用している場合には、その勝者エクスペリエンスがすでに、あらゆる訪問者に提供されています。

参考情報:https://www.adobe.com/jp/marketing-cloud/target/resources.html

多変量分析テスト

1回のテストで、複数の要素の最適解を探る必要がある場合があります。例えば、様々な見出し、背景画像、 コールトゥアクション (CTA) の色やコピーなどを検討する場合です。多変量分析テスト (MVT) 機能を利用す れば、どの要素の組み合わせが最も効果的であるか、それぞれの要素が勝者エクスペリエンスにどの程度 貢献しているのかがわかります。その情報をA/Bテストで活用し、各要素を調整して、さらにコンバージョン 率を高めることができます。多変量分析テスト機能は、テストする要素のバリエーションをAdobe Targetに追 加するだけで設定でき、自動的にテストエクスペリエンスが生成されます。さらに、無意味なエクスペリエン スを除外することもできます。例えば、送料50%オフのバナーと、送料無料のコールトゥアクションコピーの 組み合わせは、テストする意味がありません。

エクスペリエンスターゲティング

特定のオーディエンスから確実に反響が得られそうなコンテンツがある場合は、ルールベースのパーソナラ イゼーション戦術を適用して、そのコンテンツを直接ターゲティングすることができます。エクスペリエンス のターゲティングを設定するには、提供するエクスペリエンスと、追跡する成功指標を指定します。次に、そ のエクスペリエンスを提供するオーディエンスを定義または選択します。

自動パーソナライゼーション Premium

適切に設計されたパーソナライゼーションアルゴリズムによって、エクスペリエンスターゲティング、A/Bテス ト、多変量分析テストよりも高い確率で、個々の訪問者の心をつかむエクスペリエンスを特定できます。 Adobe Targetの自動パーソナライゼーション機能には、アドビのデータサイエンティストが幅広い用途を想定 して設計した業界最先端の人工知能(AI)が搭載されています。訪問者グループおよび個々の訪問者の情報 を機械学習に利用することで、アルゴリズムが最適化され、それぞれの利用者が好むコンテンツを提供でき るようになります。詳細なレポート機能を使って、予測可能性と影響力が最も大きいデータポイントを発見 し、説得力のある新しいオーディエンス情報をすぐに見つけることができます。

Premium レコメンデーション

Adobe Targetのレコメンデーション機能を活用すれば、クロスセルやアップセルにより推奨される製品やサー ビスを表示するパーソナライゼーションアルゴリズムを使用して、サイト訪問者の好みに応じたコンテンツを 表示でき、収益化までの時間を削減できます。このような戦術は小売業界では従来から使用されてきました が、他の業界でも同様に、訪問者に応じて様々な種類のコンテンツを表示するようになってきました。例え ば、メディア関連企業の場合は映画や書籍、記事など、またテクノロジー企業や顧客サポート部門では顧客 サポートの回答例やハードウェアドライバーのダウンロード、ホワイトペーパーなどのコンテンツです。Adobe Targetのレコメンデーション機能には、業界別の組み込みガイダンスや、結果を表示するための様々なテンプ -トが用意されています。さらに、人気の高さ、コンテンツの類似性、「この商品を見た人はこの商品も見 ています」などの効果的なアルゴリズムによって、コンバージョンを促進するコンテンツを提供することがで きます。



Adobe Targetモバイル

モバイルを利用する訪問者や顧客の割合が増加している今、最適化とパーソナライゼーションの範囲をモバイルにも広げることが求められています。デスクトップPC向けwebサイトの最適化またはパーソナライズに利用しているデータやAdobe Targetの機能を、モバイル向けwebサイトやアプリでも活用できます。同じVisual Experience Composerを使用して、アダプティブまたはレスポンシブなモバイルwebエクスペリエンスをテストしたり、ターゲティングしたりできます。Visual Experience Composerのモバイルビューポートを使って、サイトの運用を開始する前にエクスペリエンスをプレビューし、調整を加えることができます。

アプリと、アプリの利用者の両方の価値を最大限に高めましょう。Adobe AnalyticsとAdobe Audience Manager、Adobe TargetをひとつにまとめたAdobe Mobile SDKを活用すれば、Adobe Targetで利用者の行動やデバイスのコンテクストにもとづいてモバイルアプリのエクスペリエンスをテストし、調整して、パーソナライズできます。

アドビを選ぶ理由

最適化やパーソナライゼーションのソリューションは他にも多数ありますが、多くのお客様がAdobe Targetを選んでいるのはなぜでしょう。その理由を、まとめてみましょう。Adobe Targetは、世界中の成功を収めている多くの大企業で採用されています。アドビは長年、信頼されるパートナーとしてこうしたお客様の成功を支えてきました。業界をリードするテクノロジーと基盤は、様々な規模のデジタルマーケティングニーズに対応できます。また、全世界で活動するコンサルティングサービスチームが豊富なノウハウを生かして、強力な最適化プログラムやパーソナライゼーションプログラムの構築を支援します。さらに、お客様のニーズに最適なソリューションをお届けできるよう、絶え間なくイノベーションを推し進め、ソリューションを進化させています。アドビにお任せいただければ、いつでも業界最高レベルのソリューションをお届けいたします。

さらに詳しく

他の類似ソリューションを凌駕する、Adobe Targetの様々な機能について、詳しくは、Adobe Targetのwebサイトをご覧ください。https://www.adobe.com/jp/marketing-cloud/target.htmlまたAdobe Targetの新機能については、以下をご覧ください。https://www.adobe.com/jp/marketing-cloud/target/new-capabilities.html





Adobe Targetの構成別の機能比較

| Adobe Targetの構成 | Standard | Premium |
|--|----------|---------|
| A/Bテストと多変量分析テスト | | |
| ルールベースのパーソナライゼーションとエクスペリエンスターゲティング | | |
| 業界別のカスタマイズに対応する、パーソナライズされたレコメンデーション機能 | | |
| 自動化されたパーソナライゼーションと機械学習 | | |
| A/Bテストとパーソナライゼーションチャネル | | |
| デスクトップPC向けのwebとモバイルweb | • | • |
| オープン時とビルド時の電子メール通知 | • | • |
| モバイルアプリ(Marketing Cloud SDKで有効化) | アドオン | • |
| サーバーサイドのデプロイ | • | • |
| loT(セットトップボックス、インテリジェントデバイス、ATM、キオスクなど) | | • |
| A/Bテストとエクスペリエンスパーソナライゼーション | | |
| 1行のコードによる実装 | | • |
| シングルページアプリケーション(SPA)のネイティブサポート | | • |
| Visual Experience Composer(WYSIWYG編集) | • | • |
| 3ステップでアクティビティを作成するガイド付きワークフロー | | • |
| 位置情報、モバイル、ISPデータなどによる高度なターゲティング | • | • |
| リアルタイムのインタラクティブレポート | • | • |
| マルチページとシーケンスのテスト(カスタマージャーニー) | • | • |
| テンプレート/プロパティレベルのテスト | • | • |
| テストとパーソナライゼーションの自動化 | | |
| 動的トラフィックの自動割り当て(マルチアームバンディット) | • | • |
| 自動ターゲットのワンクリックパーソナライゼーション | | • |
| Adobe Cloud Platformコアサービス | | |
| Adobe Experience Cloudでのエンタープライズアカウント管理 | • | • |
| Adobe AnalyticsとAdobe Audience ManagerのオーディエンスをAdobe Targetで共有 | • | • |
| Adobe AnalyticsをAdobe Targetのレポートソースとして利用 | • | • |
| パーソナライゼーションに使用される顧客属性(CRMから収集) | 5 | 200 |
| アクティベーション(タグ管理)機能 | • | • |
| Experience Cloudを利用したアセットのアップロードと配信による最適化 | • | • |
| サードパーティデータの統合 | | |
| サードパーティのデータ管理プラットフォームに対するAPIと統合 | • | • |
| サードパーティのCRMシステムに対するAPIと統合 | | • |
| サードパーティのコマースプラットフォームに対するAPIと統合 | • | • |
| サードパーティの電子メールサービスプロバイダーとの統合 | • | • |
| サードパーティのタグ管理ソリューションとの統合 | • | • |
| デバイスやプラットフォームをまたいだテスト | • | |

詳細情報

https://www.adobe.com/jp/ marketing-cloud/target.html



Adobe Systems Incorporated 345 Park Avenue San Jose, CA 95110-2704 USA www.adobe.com/jp Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

@ 2018 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.

3/18

